

思い出の事務所旅行・イベント



所員旅行 (1993年)



納涼会 (2008年)



京都・新オフィスに移転 (2015年)
※撮影は 2015.12



福岡オフィス開設 (2012年)
※撮影は 2015.3

創立 30 周年記念特集



代理人と記念写真 (1997年)



「創英」というと抽象名称でスタートした記念の写真 (1988年)



創業1年目の納会 (1986年)



代理人と記念写真 (1987年)



企業知財部 (当時は「特許部」等が一般的) の方
との集合写真



日常のヒトコマ (銀座ウイングビル1993年頃)

《事務所の変遷》

1986	1988	1988	1989	1992	1994	1996	1997	1999	2000	2004	2006	2007	2008	2010	2012	2013	2014
港区愛宕山で長谷川が前身事務所を創業	創英国際特許事務所創立	「創英ヴォイス」創刊	東神田LYビルに移転	銀座ウイングビルに移転	京橋ナショナルビルに移転	「弁理士8名の計43名」創立十周年	創刊20号発行	大倉本館に移転 法務部門開設	創刊30号発行	銀座ファーストビルに移転。創刊40号発行	創立二十周年「弁理士52名の約150名」	創刊50号発行	京都オフィス開設	丸の内(MY PLAZA)へ移転	福岡オフィス開設	共同経営体制開始「弁理士約100名超える」	創刊70号発行
岩本町時代	東神田時代	銀座ウイングビル	京橋時代	大倉本館	銀座ファーストビル	丸の内(MY PLAZA)											

創英30周年に寄せて



株式会社エジケン技研
代表取締役社長
加藤 勇

貴事務所は、ときどき思い出してのぞいて見ると、その度に大きくなっています。素晴らしいのひとつです。

私が貴所に在籍していたのは20年も前のことです。所長のキャラクタを反映した明るく元気一杯の事務所でした。特許業界は、一度入ったら抜け出せないという意味でブラックホールと言われていました。私はその引力を振り切って会社を起業したという変わった経歴なので、今回の原稿を頼まれたのだと思います。写真は香港旅行のもので、ヒゲの男が私です。あの頃、自分が埋没していると感じ、少しでも人と違うことをやりたいと、もがいた結果がヒゲでした。

会社を作ったのは1995年。今から思えばとてもラッキーなタイミングでした。Windows95が発売されインターネットが普及し始め、パソコンやマウスやいろんな製品が登場しました。私も、足で操作するマウスの開発を始め、地元の町工場と協力して2年ほどで開発を終えました。創業時の第1の目標は、自分で開発した製品を世に出すことでした。いくつか製品を出しましたが、その売上で会社が成り立つレベルではないのでまだ道半ばです。

これではとても食べていけないので、実験装置など一品物の受託開発を始めました。苦勞して設計製作しても売れるのはたった1台ですから、精神的にも経済的にも苦しかったし、家族も大変だったと思います。でも、金をかけずにモノを仕上げる能力と、徹底したコスト意識は身に付きました。

初期のホームページ作成はプログラムをつくる作業に似ていて、プログラムが得意だった私も会社のホームページを始めました。今でも営業は苦手ですが、そんな私にはインターネットが営業の代わりになるのはとてもラッキーでした。ネット経由で様々な引き合いが入ってきました。創業時の第2の目標が英語を使った海外とのビジネスだったこともあり、パソコン関連の輸入を始めました。

今は、輸入で稼いだ金を製品開発に回しています。昨年、貴所に依頼して日米に特許を出願しました。しかし、小企業が開発を続けていくのは大変です。このところ、エネルギーがなくなってきて、いろんなことを面倒くさいと感じる状態でした。でも、この原稿作成をきっかけに初心を思い出すことができ、エネルギーが湧いてきました。次の世代に引き継がせる価値のある会社、唯一無二の事業を手掛ける社会的存在意義のある会社に成長させたい。貴所にはまた感謝しなければならぬようです。

30年前、15年前、そして将来

Attorney at Law (NY & DC)
European Patent Attorney
松澤 美恵子

「今」ミュンヘンで暮らしています。自然と音楽に囲まれた環境です。誠実に勤勉な人たちが多く治安も良いです。

「30年前」：

日本に住んでいました。人見知りで地味な学生でした。「貴女は23歳で結婚します」と占い師に言われて、「そうか。」なんて思っていました。渡米する計画はありませんでした。

「15年前」：

SOEIに就職して一年目でした。アメリカで社会人となっていた私は、日本での就職先を探して「SOEI」と巡り会いました。ワシントンDC近郊の大規模な研究機関から、銀座通りに面したオフィスビルに職場が変わりました。同僚はアメリカ人から日本人に変わりました。仕事内容も、暮らしも、言語も、変わりました。大変な日々でしたが、あの経験があったからこそ、今の自分があるのは確かなことです。

Hoffmann Eitle で働き始めて8年と数か月が経ちました。Hoffmann Eitleの援助があって、4年前にEUの永住権を取得しました。ドイツの国境を超えた永住権なのでドイツ語の能力は必要とされず、この時に、迷いは綺麗になくなり、アメリカに戻らないことを決意しました。

将来は…

日本に戻り、静岡で隠居する予定です。温暖な気候、富士山と海、シーフード、みかん、日本茶等、理由はいろいろあります。



昨年(2015年)5月下旬、日本出張中に古巣・創英に立ち寄り、長谷川さんと皇居外苑を散歩しました。

創業30周年、心からお喜び申し上げます

アサヒグループ食品株式会社
企画本部 人事総務部/経営企画部 担当副部長
弁理士 奥富 圭一

私が創英に入所したのは2000年1月。事務所は銀座の大倉本館にありました。製薬会社の研究職だった身から、実務未経験、しかも全く不慣れなお客様商売への転職。クライアントの方との打合せで緊張して全く話せなかった日々を昨日のことに思い出します。

入所試験はさらに前の所在地である京橋ナショナルビルでした。会議室で一人待っていると、ひょろ長い方が勢よくドアを開け「○○さん？」(私では無い名前)、「あれ、違うの？」と出ていきました。後で思えば、長谷川所長、あの頃は所長も若かったですね。

入所初日に、「所是、所訓」と書かれた紙ペラを渡されました。今ではHP上で「心得」「仕事の進め方」として紹介されていますが、創英の仕事の考え方、進め方を示したものです。それまで勝手気ままな研究員だった私が「社会人」デビューした瞬間でした。この紙は、その後、企業に転職してからもずっと手帳に入れ、見返しました。今でもほぼ暗誦しています(飲んだときに試さないでね)。

現在、日本の知財業界は活況とは程遠い状況にありますが、創英には、今後も業界を盛り上げる存在であり続けることを期待しています。私も所外から、スーパードライを飲みながら応援し続けます。



30周年おめでとうございます

エヌ・イー ケムキャット株式会社
触媒開発センター 化学触媒開発部
つくば化学触媒室 室長
博士(工学) 関 安宏

私は1999～2003年に在籍していました。当時から長谷川さんや手練れの先輩による厳しくも親身な指導で若手を鍛える教育の仕組みがありました。

新人の頃は、数日考えて書いた明細書が30分で的確に手直しされるといった圧倒的な力の差をみせつけられて早く一人前になりたいと必死でした。はじめは発明者に代わり権利設計する作業に自信が持てず苦しみましたが、次第にそれに面白みを感じるようになり、独立起稿者になれたときはとても嬉しかったです。

創英での経験が強みとなり、そのおかげで卒業後も仕事や人に恵まれ、Panasonicでの燃料電池の事業化、内閣官房での知的財産政策ビジョンの策定などやりがいのある仕事を体験することができました。

現在は水素ビジネスに係る新規触媒の技術開発・事業化を担当しています。水素社会実現にはグローバルな連携が必要で、海外企業との共同開発やライセンス交渉もあり、知財は事業戦略の実行のために益々重要な道具となっています。

今も明細書を書くことがあり悩むと創英の公報を参考にしています。今後も活気ある尖った創英であり続けてください。更なるご発展を祈念しております。

